

## 引用文献

- 安達智子, & 下村英雄 (編著). (2013). キャリア・コンストラクション ワークブックー不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学. 東京, 金子書房, 29.
- 青柳優子, 石村由利子, 大槻優子, 飯野伸子, & 堀田久美 (2007). 日本における助産師のキャリアの発達に関する文献レビュー. *順天堂大学医療看護学部 医療看護研究*, 3(1), 69-74. Retrieved from <http://www.nurs.juntendo.ac.jp/about/library/magazine.html>
- 朝野春美, 塚本友栄, 茂呂悦子, 高久美子, 小松崎香, 渡井恵, ... 春山早苗 (2012). A 病院に勤務する看護職員のキャリア・アンカーの特徴. *自治医科大学看護学ジャーナル*, 10, 69-77. Retrieved from <https://www.jichi.ac.jp/nurse/about/publication/journal.html>
- 馬場貞子, & 村中陽子 (2007). 看護系大学院社会人入学生のキャリア・アンカーの特徴. *日本看護学会論文集: 看護教育*, 38, 30-32. Retrieved from <http://www.libraryplus.jp/bcs/ct/kangosakuin/doc.0704300>
- Dewey, J. (2004). 経験と教育. (市村 尚久 訳.). 東京, 講談社, 50-66. (Dewey, J. (1938). *Experience and Education*. New York, The Macmillan Company. )
- 半田育子, 角智美, 國谷美香, & 吉良淳子 (2015). 離職者が少ない病院に勤務する看護師のキャリア・アンカーとキャリア・ニーズに関する実態調査. *日本看護学会論文集: 看護管理*, 45, 110-113. Retrieved from <http://www.libraryplus.jp/bcs/ct/kangosakuin/pdf/1405155.pdf>
- Higgins, C. M., & Kram, E. K. (2001). Reconceptualizing Mentoring at Work: A Developmental Network Perspective. *The Academy of Management Review*, 26(2), 246-288. Retrieved from <http://www.jstor.org/stable/259122>
- 平井さよ子 (2002). 改訂版 看護職のキャリア開発 転換期のヒューマンリソースマネジメント. 東京, 日本看護協会出版会, 3, 8.
- 福井純子 (2013). 看護師のキャリア選択に影響を及ぼす要因～経験を積んだ看護師の振り返りの語りから～. *北海道医療大学看護福祉学部学会誌*, 9(1), 133-139. Retrieved from [https://hsuh.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=10416&item\\_no=1&page\\_id=13&block\\_id=17](https://hsuh.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=10416&item_no=1&page_id=13&block_id=17)
- 今堀陽子, 坂口桃子, 盛岡郁晴, & 鈴木幸子 (2010). キャリア中期にある看護師とメンタリング キャリア・アンカーの形成を基軸として. *和歌山県立医科大学保健看護学部紀要*,

6, 27-33. Retrieved from <https://opac.wakayama-med.ac.jp/mikazura/index.html>

萱間真美 (2007). 質的研究実践ノート 研究プロセスを進める clue とポイント. 東京, 医学書院.

金井壽宏 (2002). 働くひとのためのキャリア・デザイン. 東京, PHP 研究所, 114-120.

金井壽宏 (2003). キャリア・デザイン・ガイド 自分のキャリアをうまく振り返り展望するために. 東京, 白桃書房, 20.

金井壽宏, & 鈴木竜太 (編著). (2013). 日本のキャリア研究 組織人のキャリア・ダイナミクス. 東京, 白桃書房, 121.

加藤一郎 (2004). 語りとしてのキャリア —メタファーを通じたキャリアの構成—. 東京, 白桃書房, 253.

加藤直美, & 久田満 (2014). キャリア・アンカー・ワークが成人期の女性勤労者に及ぼす心理的効果. 上智大学心理学年報, (38), 33-43.

Retrieved from <http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/36244>

木村直珠 (2010). 中堅看護師がワーク・ライフ・バランスに望む内容. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録, 35, 152-159. Retrieved from <https://opac.kuhs.ac.jp/webopac/catsrs.do>

北川良子 (2010). 助産師の出産・育児と就業継続の関連要因—就業継続状況に焦点をあてて—. 日本助産学会誌, 24(2), 3485-357. doi: <http://doi.org/10.3418/jjam.24.345>

公益社団法人 日本看護協会 (2013). 助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー)活用ガイド. 日本看護協会出版会, 8-22. Retrieved from <http://www.nurse.or.jp/nursing/josan/pdf/suishin/guide.pdf>

厚生労働省 (2011). 看護職員就業状況等実態調査結果. Retrieved from <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000017cjh-att/2r98520000017cnt.pdf>

畔柳修 (2013). キャリアデザイン研修 実践ワークブック 若手・中堅社員の成長のために. 東京, 金子書房, 3.

Krumboltz, D. J. , & Levin, S. A. (2005). その幸運は偶然ではないんです!. (花田光世, 大木紀子, & 宮地夕紀子 訳.). 東京, ダイヤモンド社, 3-4. (Krumboltz, D. J., & Levin, S. A. (2004). *Luck Is No Accident: Making the Most of Happenstance in Your Life and Career*. Western Australia, Impact Pub. )

松尾睦 (2011). 職場が生きる人が育つ 「経験学習」入門. 東京, ダイヤモンド社, 138.

- 三木明子, 村井文江, 小池秀子, & 江守陽子 (2012). 実務経験 20 年以上の看護師におけるキャリア・アンカーとキャリア継続要因. *日本看護学会論文集: 看護管理*, 42, 138-140. Retrieved from <http://www.libraryplus.jp/bcs/ct/kangosakuin/pdf/1105014.pdf>
- 中原淳, & 金井壽宏 (2009). *リフレクティブ・マネジャー 一流はつねに内省する*. 東京, 光文社, 137-138.
- 中井正美, 織田侑里子, 高橋侑子, 田渕優奈, 木村優子, & 森岡郁晴 (2011). 病院に勤務する看護師のワークライフバランスと精神的健康度の関連. *日本健康教育会誌*, 19(4), 302-312. Retrieved from <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kenkokyoiku/-char/ja/>
- 岡津愛子, & 松村恵子 (2012). 助産師の出産体験による働くことへの意識変化. *香川母性衛生学会誌*, 12(1), 47-51. Retrieved from [http://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eb4kasmh/2012/001201/006&name=0047-0051j&UserID=58.5.157.20&base=jamas\\_pdf](http://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eb4kasmh/2012/001201/006&name=0047-0051j&UserID=58.5.157.20&base=jamas_pdf)
- 坂口桃子 (1999). 看護職のキャリア・ディベロップメントに関する実証的研究 キャリア志向のタイプと形成時期. *日本看護管理学会誌*, 3(2), 52-59. Retrieved from <http://janap.umin.ac.jp/sub01.html>
- 佐藤孝子, 柳原清子, 石井美里, 望月好子, 手島芳恵, 磯みどり, & 桜井明美 (2012). 大学病院看護師のワーク・ライフ・バランスと関連要因の分析. *日本看護学会論文集: 看護管理*, 42, 197-199. Retrieved from <http://www.libraryplus.jp/bcs/ct/kangosakuin/pdf/1105030.pdf>
- Schein, H. E. (1991). キャリア・ダイナミクス—キャリアとは、生涯を通しての人間の生き方・表現である。.(二村敏子, & 三善勝代 訳). 東京, 白桃書房, 142-146. (Schein, H. E. (1978). *Career Dynamics: Matching Individual and Organizational Needs*. Massachusetts, Addison-Wesley Publishing Company. )
- Schein, H. E. (2003). キャリア・アンカー 自分のほんとうの価値を発見しよう。(金井壽宏 訳). 東京, 白桃書房, 1-2, 21-48, 96. (Schein, H. E. (1985). *Career Anchors: Discovering Your Real Value Career anchors*. San Francisco, Pfeiffer. )
- 関美佐 (2015). キャリア中期にある看護職者のキャリア発達における停滞に関する検討. *日本看護科学会誌*, 35, 101-110. doi: <http://doi.org/10.5630/jans.35.101>
- Schon, A. D. (2007). 省察的実践とは何か—プロフェッショナルの行為と思考—。(柳沢昌一, 三輪建二 訳. ). 鳳書房, 62. (Schon, A. D. (1983). *The Reflective Practitioner: How Professionals Think In Action*. New York, Basic Books. )

住田陽子, 坂口桃子, 森岡郁晴, & 鈴木幸子 (2010). 看護師のキャリア・アンカー形成における傾向. *日本看護研究学会雑誌*, 33(2), 77-83.

Retrieved from <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjsnr/-char/ja/>

田所由利子 (2008). 産科診療所に勤務する看護職の就業継続意志に影響を与える要因. *日本助産学会誌*, 22(2), 198-207. doi: <http://doi.org/10.3418/jjam.22.198>

脇川紗也香, 濱野香苗, & 野茂香織 (2011). 看護職員のワーク・ライフ・バランスの実態調査. *日本看護学会論文集: 看護管理*, 41, 266-269.

Retrieved from <https://www.nurse.or.jp/nursing/education/library/sakuin.html>